**鳥取市立図書館情報管理システム更新事業 最優秀提案者選定基準**

「鳥取市立図書館情報管理システム更新事業に係るサービス提供業者選定（公募型プロポーザル方式）」における最優秀提案者の選定は、下記に掲げる方法による。

記

1. 選定委員会
2. 応募された企画提案書等を審査するため、「鳥取市立図書館情報管理システム更新事業プロポーザル選定委員会（以下「委員会」という）」を設ける。
3. 委員会は、採点結果に基づいて、最終的に審査し、最優秀提案者と次点の提案者を選定する。
4. 事務局は、鳥取市立中央図書館に設ける。
5. 最優秀提案者の選定方法
6. 最優秀提案者の選定は、提出された企画提案書等提出書類及び提案者による提案内容のプレゼンテーションの審査結果から行う。
7. 企画提案書の内容が、「仕様書」の要求事項を満たしているか否かを判定し、これを満たしているものには別紙３「企画提案書評価基準」に記載する各項目の配点内（配点総点数の上限は450点）で、提案内容の評価に応じて「企画点」を与える。
8. 委員会は、プレゼンテーションにおいて提案者による提案内容の企画提案書について再度評価を行う。
9. 上記により算出された企画点および価格点の合計点数が最も高い者を最優秀提案者とする。
10. 合計点数が同じ者が２者以上あるときは、「企画点」の最も高い者を最優秀提案者とする。
11. 採点

採点は、提案された企画の優秀性及び見積総額の低廉性を評価することにより行う、企画点および価格点により採点した結果の合計点数とする。

1. 採点配分

採点の配分については、以下のとおりとする。（合計750点）

|  |  |
| --- | --- |
| 評価項目 | 配点 |
| 企画点 | 企画提案書 | 提案書の明瞭性 | 10 |
| 組織とマネジメント | 90 |
| システム構成 | 70 |
| システム切替 | 40 |
| 他システム連携 | 30 |
| セキュリティ対策 | 50 |
| 品質・性能管理 | 10 |
| 保守・運用支援業務 | 110 |
| 追加提案 | 40 |
| システム機能要件確認書 | 200 |
| 価格点 | 100 |
| 合計 | 750 |

1. 企画点
2. 企画提案書
* 評価基準は別紙３「企画提案書評価基準」のとおりとする。
* 評価基準のうち必須とする項目について１項目でも提案が無い項目があれば、全ての項目の評価は行わない。
* 評価基準に示す配点の上限の範囲内で、提案内容の評価に応じて以下の評価点を与える。

採点の目安

|  |  |
| --- | --- |
| 評価点 | 判断基準 |
| ５点 | 非常に優れている |
| ４点 | 優れている |
| ３点 | 標準である |
| ２点 | 劣っている |
| １点 | 非常に劣っている |
| ０点 | 必要項目の記載がない、もしくは記載はあるが不適切である |

1. システム機能要件確認状況
* システム機能要件確認書の充足状況について、下表のように加点を加える。合計点がマイナスとなった場合には、0点とする。そのうえで、機能要件の充足度の配点の枠内（200点）で按分して点数を計算する。無回答の場合は、「対応不可」とみなす。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 標準対応 | 対応可能（見積内）・運用対応 | 対応可能（見積外） | 対応不可 |
| 必須項目 | 0 | -5 | 失格 | 失格 |
| 必須以外 | 8 | 6 | -5 | -10 |

1. 価格点
2. 配点

価格点は１００点満点とし、本事業に係る全ての見積価格の総額から評価する。

1. 評価基準

価格点の評価は、その見積価格に応じ、点数化するものとする。点数化の方法については、次に示す方法による。

なお、価格点を求める際には、小数点以下は四捨五入するものとする。

価格点＝（ １－（提案価格－最低提案価格）／提案上限額 ）× １００

以上